

令和2年1月21日
九州地方整備局

今後の海の中道海浜公園の整備・管理運営の方向性について

本公園では、今後も継続的な魅力向上に自ら努めるとともに、官民連携の取組についても継続的に展開していくこととしており、その検討の参考となる提案についても本公募への提案に併せて任意でご提案頂けることとしていました。

頂いた参考提案につきまして、選定委員会において議論を行った結果等は以下の通りです。なお、参考提案に関する意見は本公募の評価結果とは関係ありません。

1. 参考提案の概要（提案数：1件）

B地区にMICE機能が付帯したハイレベルホテル、コンドミニアムホテル等を設置するとともに、C地区に大型屋外劇場、映画コンテンツのテーマパーク等を設置し、50年間運営を行う。

2. 選定委員会での意見

（参考提案に関する意見）

（1）国営公園の設置趣旨・目的との整合について

- ・大型テーマパーク、ハイエンドホテルでは、人は集まるかもしれないが、それだけではないと思う。公園の魅力を引き出すという方向性に沿う提案を求めたい。
- ・テーマパークのような施設では、利用料金が高額となり、週末に家族が気軽に訪れるレクリエーションの場としては、国営公園の趣旨からすると、違和感が否めない。

（2）本公園ならではの特性等との整合について

- ・国営公園は、公共性、公益性、持続性を考慮して整備、管理運営を考えるべきであり、その中でも海の中道海浜公園は白砂青松の自然環境の保全などを目的として設置されているはず。この提案のように本公園でなくともどこでも成り立つものはふさわしくない。
- ・自然は一度壊れると簡単に戻らない。海の中道特有の自然を公園とすることで守ってきたこれまでの取組を継承し、もう少し住民が楽しめる、自然を活かした空間として活用していくべきであると思う。
- ・現況の海の中道海浜公園の、家族連れで行く、若い人々が集まるといった利用状況を考えると、入ったらすぐ施設があるといったものは開放感という点では逆行するのではと感じる。

(参考提案を踏まえた今後の本公園の方向性に関する意見)

(1) 国営公園の設置趣旨・目的を踏まえた方向性について

- ・国全体が負担し事業を行っている国営公園として、日本の自然、文化、景観を継承していくなど、単なるレクリエーションを超えた意義を明確にしていく作業が必要になってくるのではないか。

(2) 本公園ならではの特性等を踏まえた方向性について

- ・民間企業が公園の運営に参入することは歓迎し、前向きに受け止めつつ、テーマパークのようにどこでも通用するものではなく、公共性や公益性、持続性を考慮し、本公園ならではの魅力の向上に取り組んでいくことが重要ではないかと思う。
- ・本公園を設置した当初から時代も変わっており、これからどういう国営公園を目指すのか、民間活力導入の先にどのような国営公園の有り様を目指すのかという議論が非常に大事。

(3) 具体的な手法、手段等について

- ・スケールメリットを活かして、様々な年代がここに来ると元気になるようなスポーツのプログラムや、医療・健康といった観点をに入れていくことも考えられる。
- ・大規模な施設を作らなくても、色々なアイデア次第で異なる業種の参入を促せると思う。そういったものを実験的にやってみることも考えられる。
- ・もっと本公園の楽しさをアピールすると、もっと人を惹きつけられるのではないか。そういう点で広報等も重要。
- ・今後、本公園で事業を行う事業者等も含めて、本公園の今後の方向性や取組等について継続的に話し合うことができる協議会のような組織をつくっていくことが必要だと思う。

3. 今後の方向性

選定委員会で頂いたご意見を踏まえ、海の中道特有の自然環境を守りながら、その環境とのふれあいを期待される方が気軽に訪れることができるレクリエーションの場を提供することを本旨とした公共性の高い国営公園として、今後も海の中道の自然豊かな環境を守り、活かしながら、整備・管理運営を進めて参ります。

その上で、公園の魅力をより一層向上させるため、本公園の目指す有り様や官民連携を含めた公園の魅力向上の取組などについて、本公園に関わる多くのステークホルダーの意見、アイデア等も伺いながら、検討を進めて参ります。